

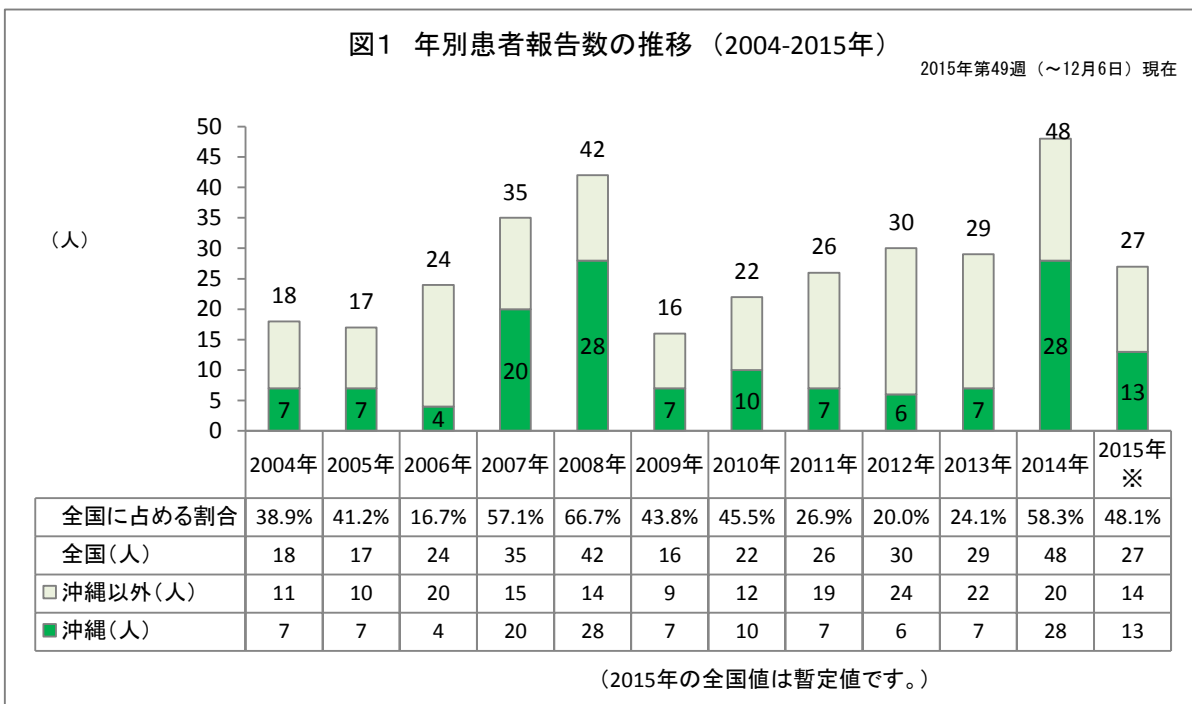
レプトスピラ症の発生動向（沖縄県 2015年）

レプトスピラ症は、病原性レプトスピラによって引き起こされる人獣共通感染症です。病原性レプトスピラは、ネズミやマングースなどげっ歯類を中心とした多くの哺乳動物の腎臓にあり、尿中へと排出されます。ヒトは保菌動物の尿に汚染された水や土壌などから、傷口や粘膜を通して感染します。感染の3～14日後に、発熱や頭痛、目の充血、筋肉痛などのカゼ症状や、黄疸や腎不全を伴う症状を呈することがあります。

1 年別報告数の推移（2004年～2015年）

沖縄県のレプトスピラ症の報告は、年間4～28人で推移しています。

2014年の報告数は28人で、2004年以降最も多かった2008年と並んで多くなりました。沖縄県は国内で患者報告が多く、県外では、八重山地区を旅行中に感染した観光客が、本土に戻った後に診断される例も報告されています。



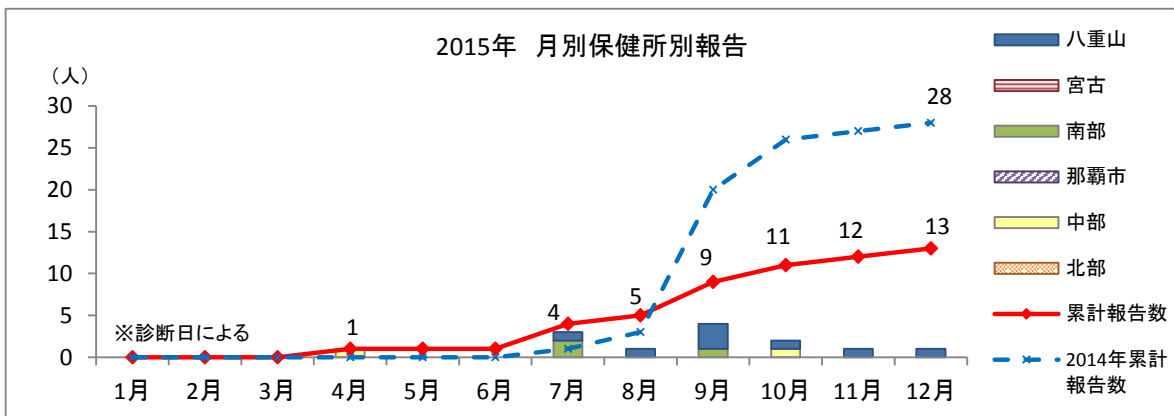
レプトスピラ症は2003年11月施行の感染症法一部改正により、4類感染症に指定されました。

2 月別届出受理保健所別報告数

・例年、夏から秋にかけて多くなります。

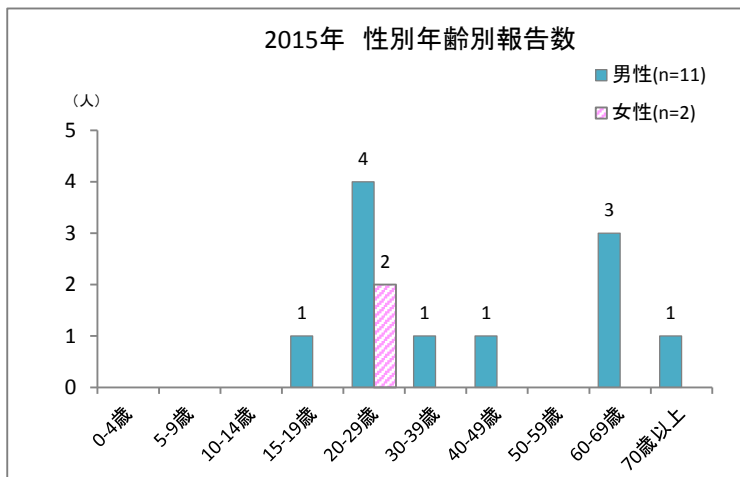
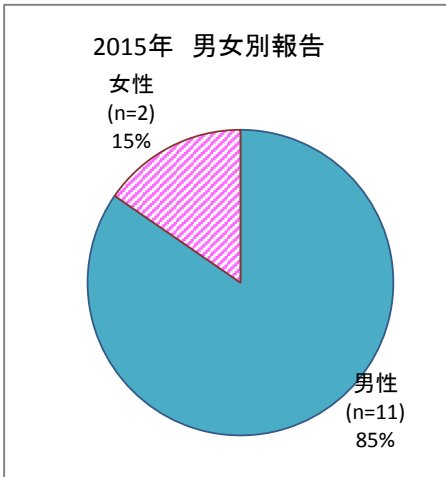
2014年は、7月末に今年初めての患者報告があり、9月に最も多い17人が報告されました。

2015年は、5月に初めての報告があり、7月～10月は毎月報告があります。



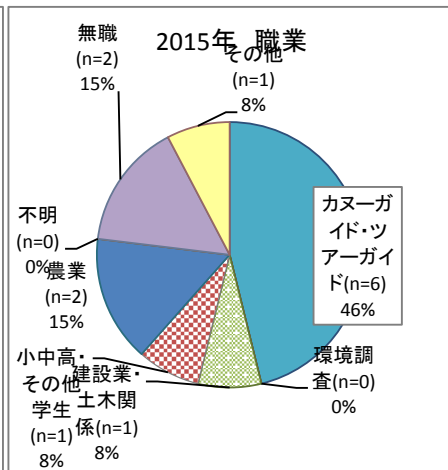
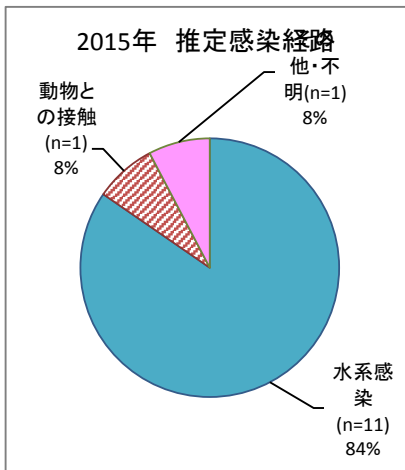
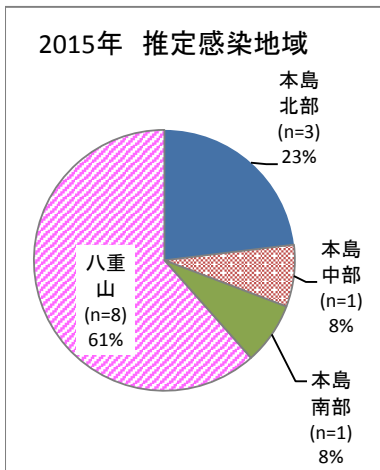
3 性別年齢別（2015年）

男性が8割を占めています。
年齢別では、20歳代、60歳代が多くなっています。

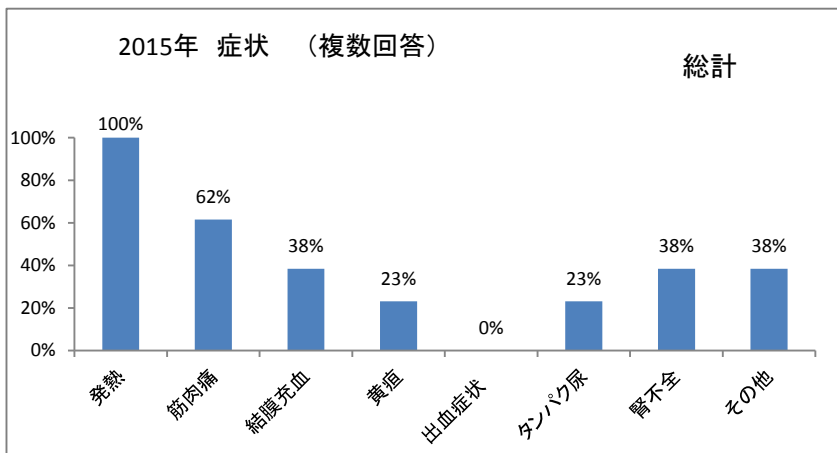


4 推定感染経路・感染原因（2015年）

推定感染地域は、八重山地域が6割、本島が4割です。推定感染経路は、ほとんどが水系感染で、滝を含む河川でのレジャー活動での感染が疑われる例がほとんどですが、台風後の作業で淡水を使った例も報告されました。その他、本島南部で動物(ねずみ)との接触が感染源と推定される例が1件報告されています。



5 症状（2015年）



発熱や筋肉痛の症状が多くみられます。腎不全や黄疸などの症状も4割近くあります。

6 参考資料

※レプトスピラ症は四類感染症です。

診断した医師は直ちに最寄りの保健所へ届け出てください(全数報告です)。

<速報> 沖縄県八重山地域で発生したレプトスピラ症 2014年8月(IASR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/803-disease-based/ra/leptospirosis/idsc/iasr-news/4940-pr4157.html>

2013年に沖縄県西表島で発生したレプトスピラ症 (IASR Vol. 35 p. 14-15: 2014年1月号)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/1057-disease-based/ra/leptospirosis/idsc/iasr-in/4260-kj4071.html>

沖縄県におけるレプトスピラ症患者の発生状況、1988～2007年(Vol. 29 p. 10-12: 2008年1月号)

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/335/dj3354.html>

1999年夏季に沖縄県八重山地域で多発したレプトスピラ症 (IASR Vol.21 p 165-166:2000)

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/21/246/dj2463.html>